# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　4年　3月　3日

公表：令和　4　年　3　月　29　日

事業所名　ワーカーズコープ三島地域福祉事業所ぽっかぽか

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | | 8 | | 動きのある部屋（おもちゃなど）とテーブル（ぬりえ、折り紙など）あそびを部屋区別している。 | 民家のため利用人数によっては手狭であり死角も多く注意が必要。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 4 | 3 | 1 | | マンツーマン対応が必要な児童が多い。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | 5 | 3 | | 民家のために段差が多い。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 3 | 5 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 3 | 5 | | | 契約時や時に応じてアンケートを実施しているがアレルギーなど再実行しようと検討中<br>今年度からは充分に把握し、保護者の安心につながるようにしたい。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 1 | 5 | 2 | | 毎年HPで公開しているが周知出来ていない。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 4 | 3 | | 法人内部で他事業所との相互監査を毎年行っているが今年度は未実施。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 3 | 1 | | コロナ禍により実施出来ず以前は研修あり<br>救急法、・てんかんの対処法等々、子供の状況に応じた対応、やり方など聞く機会を作って欲しい。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 3 | 5 | | | 特に今年度は面談というしっかりした形で出来ておらず、送迎時の聞き取りで代替した。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 2 | 4 | 2 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 4 | | 全員で立案はしていないが個々に声掛け等している | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | 5 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 3 | 5 | | | 徒歩や車を利用しながら、近くて子供たちが体を動かせる場所に連れて行ってあげたいと思っている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 3 | 5 | | | 集団活動の難しい利用者が多いが、子ども同士でのコミュニケーションと成長し合うことを重視している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | 4 | | | 打合せは必ず毎日は出来てはいないが重要な件については内容、分担等話がある<br>伝達や改善点など確認したらチェックするシステムがあるとよい。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | 7 | 1 | | 送迎時間により勤務終了時間がバラバラで打ち合わせは出来ていない。伝達や改善点など確認したらチェックするシステムがあるとよい。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 3 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 1 | 7 | | | 毎月、全職員でのケース会議を行っている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | | 7 | 1 | | ガイドラインの研修は数度行ってはいるが、まだ浸透出来ていない面もある。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 1 | 6 | 1 | | サービス担当者会議が実施されること自体稀。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | | 7 | 1 | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | 8 | | | ・現在は受け入れていないので体制を整えてない |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | 8 | | | ・現在は受け入れていないので体制を整えてない |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | 8 | | | ・現在は高校3年生がいないので連携していない |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 6 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 5 | 3 | | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 1 | 6 | 1 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | | | | 保護者との会話や情報共有は力を入れている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている | | 5 | 3 | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 1 | 7 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 2 | 6 | | | 以前は土曜日などにカフェ的に保護者が気軽に寄ってお茶を飲みながら話す場をつくっていたが、現在は情勢的に出来ていない。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 6 | 2 | | 以前は保護者会を年に一度行っていたが、一昨年度より開催が出来ていない。新年度は開催したい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | 4 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 2 | | | 通信（写真）等、2ヵ月に1回配布している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | 1 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | 4 | | | 発語の出来ない利用者が殆どであり、ジェスチャーやサインなどを丁寧に行っている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 4 | 4 | | 近隣団体との行事などに参加はしているが、事業所の行事は事業所内になってしまっている。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 1 | 2 | 5 | | 見直しと周知が必要、BCPともに取り組みたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 1 | 1 | 6 | | 正規職員が不在の場合や地震・火災・送迎時の事故発生など緊急時の対応が分からず困っています。どの職員も出来るようにしてほしいと思います。子供たちの緊急連絡先の書類の場所など手順をある程度全員が知っている必要があると思います。大変ですが一度、避難訓練をやるとそこから問題点が浮かび上がってくると思いますが難しいですね |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 2 | 3 | 3 | | 一部の職員のみ参加、事業所全体の取り組みにする。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 2 | 3 | 3 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 2 | 5 | 1 | | アセンスメントでの情報がメインになっている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 3 | | | ヒヤリハット記入はしているが共有を全てはできていない。これらはミーティング時に報告。ヒヤリハットで上げられた項についてすべて話し合い改善策を考えて、決めて実行するようにしたい。 |